

令和5年度事業報告

法人本部拠点区分

理事会で承認されました、令和5年度法人事業計画の本部運営方針に基づき報告する。

I、法人本部の体制強化

(1) 組織体制の変更・職員の増員

- ・事業計画に基づき予定通り次の人事を行った。
候補者を4月1日付けで課長に就任させた。財務課においては、4月1日付けで契約職員のうち1名を正職員に登用した。総務人事課においては、5月1日付けで正職員1名を採用し増員した。
- ・上記3者とも自身の役割を無難にこなし、計画通りの体制強化に繋がった。

(2) 重要事項への取組み

- ・事業計画通り、5月の職員会議より月次報告として前月の財務データと人事管理データの共有、分析を開始し、定着することが出来た。これにより職員個々の意識づけも出来た。
- ・ただ、どのようにすれば有効な分析となるか職員個々の悩みがあるようで、個々の職員があまり負担にならないように組織として更に精度を高められるように、引き続き来年度以降も取り組んでいきたい。

II、各担当課の取組み

(1) 財務課

①財務管理の充実

- ・Iに記載したように財務分析を開始し定着が出来た。また会計顧問出席のもと、法人内常勤理事に対して月次報告を行うことも開始し定着出来た。
- ・以上も含め、財務課としての1か月の作業スケジュールを定型化することが出来た。
- ・来年度からは更に進化させ、各事業部の運営会議にて月次報告をすることとしている。これにより法人内常勤理事のみならず、各施設長へ直接報告する機会が出来る。
- ・前年度までは、あまり外部研修等に参加していなかったが、今年度はいくつかの外部研修に参加した。これにより改めて社会福祉法人会計を学ぶことが出来た。
- ・職員が学ぶことに対して意欲的であることも分かった。また、制度熟知が不十分などところもあることが分かったので、来年度以降も引き続き外部研修を活

用したい。

②持続可能な体制

- ・Iに記載した人事に基づき、コア業務を担っている嘱託職員から正職員に登用した者、課長に就任した者それぞれに業務を移行した。
- ・また、年度途中からであるが、複数名が1つの拠点区分の内容を知っているようにするため、主担当者（1名）以外に副担当者（1名）を配置した。これにより内部牽制機能の強化にも繋がった。
- ・こちらも年度途中からであるが、法人本部職員会議とは別に財務課職員のみのもーティングを課長主導で開始した。これにより課内の課題共有や取り組みの検討等が進み、以前より意思統一が図れた。

③DX化の促進

- ・今年度、会計ソフトにCSV形式の書式を取り込む方法で自動仕訳を出来るようにした。この方法で行う自動化はある程度完了した。更なる自動化を進めるには、給与ソフトと会計ソフトの自動連係に向けた会計ソフト変更やシステムを利用した振込業務の簡素化などが必要である。既に検討を開始しているが、来年度はより具体的に準備を進めていく予定としている。

④特定社会福祉法人としての準備

- ・会計顧問より必要書類を提供してもらったので、現時点での準備は完了している。収入が30億に到達しそうになり、特定社会福祉法人になる際に改めて準備すれば問題ない状態となっている。

（2）総務人事課

①DX化の促進

- ・職員のITリテラシーの向上がDX化の第1歩であると考え、7月より新入職者研修の中でITセキュリティ研修を開始した。
- ・現在導入済みの労務ソフトを使用して、職員には年末調整の申請をしてもらった。給与明細閲覧も行っており、来年度から各種労務手続きは全て労務ソフトを使用して行うことを決定している。
- ・各種ソフトのマニュアルを動画で作成しYouTubeで限定公開し職員にいつでも閲覧してもらえるようにした。マニュアル動画ばかりを集めた法人独自のポータルサイトの作成も行った。

②物価高対策

- ・消耗品の価格交渉や水光熱費の削減施策の情報収集など行った。
- ・物価高とは別であるが、インボイス制度が始まり振込手数料を当方持ちへ変更依頼が多数来たため、経費削減の観点から先方負担の継続や口座振替への変更など交渉を行った。

③離職対策の促進

- ・事前に拠点で把握している退職理由と比較することで、真の退職理由を把握する事に努め、離職対策に活かしたいと考え、8月（7月退職者）より退職者に対して法人本部から直接退職者に対して退職理由等を問うアンケートを行っ

た。総退職者数は61名、うちアンケート返信者は17名。アンケート結果の詳細は別紙（社会福祉法人淳風会 退職理由まとめ）の通り。

④給与体系の見直しの検討

- ・給与体系見直しについて、委託する場合の情報収集として2社から提案も含め話を聞いた。それなりの費用を要するため費用対効果の検証が必要。一方で給与体系の見直しと一言でいっても、評価制度や等級制度も含めて見直しを検討するのか等、もう少し法人内でのコンセンサスが必要であることが分かった。
- ・上記以上の事は今年度、進めることが出来なかった。近年、最低賃金の値上がり幅が大きく、下限額を値上げしたことで全体のバランスが崩れていることは確かであることから来年度、各事業部と連携し具体的に見直しを進めていく予定としている。

Ⅲ、その他

①理事会及び評議員会の開催実績

- ・令和5年5月26日 令和5年度第1回理事会

(前回からの懸案事項)

グリーンヒル淳風施設長より大規模改修工事について

(報告事項)

第一号報告 令和4年度監事監査結果報告

第二号報告 代表理事(理事長)の職務執行状況報告

第三号報告 古物営業許可申請に関する手続の件

(審議事項)

第一号議案 令和4年度事業報告の件

第二号議案 令和4年度決算報告の件(計算書類・附属明細書・財産目録の承認)

第三号議案 定時評議員会へ提案する次期役員(理事・監事)候補者の件

第四号議案 次期評議員選任解任委員選任の件

第五号議案 定時評議員会招集の件

第六号議案 資金運用の件

第七号議案 給与規程(子育て支援事業部)及び期間契約職員就業規則一部変更の件

- ・令和5年6月16日 令和5年度第2回理事会

(前回からの懸案事項)

淳風おおさか身体的虐待事例報告について

(審議事項)

第一号議案 代表理事(理事長)選任の件

- ・令和5年6月16日 令和4年度第1回評議員会(定時評議員会)

目的事項

(報告事項) 令和4年度事業報告の件他

第一号報告 令和4年度監事監査結果報告について

第二号報告 令和4年度事業報告について

- (決議事項) 議題 決算承認、新役員選任の件
- 第一号議案 令和4年度決算承認(計算書類・財産目録の承認)について
- 第二号議案 理事10名選任について
- 第三号議案 監事2名選任について
- ・令和5年8月18日 令和5年度第3回理事会
- (報告事項)
- 第一号報告 令和5年度第1四半期事業報告の件
- 第二号報告 令和5年度第1四半期財務報告の件
- 第三号報告 代表理事(理事長)の職務執行状況報告の件
- (審議事項)
- 第一号議案 就業規則一部変更の件
- ・令和5年11月17日 令和5年度第4回理事会
- (報告事項)
- 第一号報告 令和5年度第2四半期事業報告の件
- 第二号報告 令和5年度第2四半期財務報告の件
- 第三号報告 代表理事(理事長)の職務執行状況報告の件
- (審議事項)
- 第一号議案 給与規程(子育て支援事業部)及び期間契約職員就業規則一部変更の件
- 第二号議案 ハラスメントの防止に関する規程一部変更の件
- 第三号議案 社宅管理規程一部変更の件
- 第四号議案 電子帳簿保存適正事務処理規程制定の件
- 第五号議案 既存施設におけるショートステイから特別養護老人ホームへの転用希望調査の結果の件
- 第六号議案 大淀地域総合相談窓口受託契約更新の件
- ・令和6年2月16日 令和5年度第5回理事会
- (報告事項)
- 第一号報告 令和5年度第3四半期事業報告の件
- 第二号報告 令和5年度第3四半期財務報告の件
- 第三号報告 代表理事(理事長)の職務執行状況報告の件
- (審議事項)
- 第一号議案 淳風おおさか自動火災報知設備更新工事の件
- 第二号議案 ハラスメントの防止に関する規程一部変更の件
- 第三号議案 就業規則及び期間契約職員就業規則一部変更の件
- 第四号議案 経理規程細則一部変更の件
- ・令和6年3月15日 令和5年度第6回理事会
- (報告事項)
- 第一号報告 藤白台留守家庭児童育成室における不適切事案の件
- (審議事項)
- 第一号議案 令和5年度第1回補正予算案の件
- 第二号議案 令和6年度事業計画案の件

- 第三号議案 令和6年度予算案の件
- 第四号議案 代表理事（理事長）辞任の件
- 第五号議案 役員及び施設長人事の件
- 第六号議案 役員等職務権限規程一部変更の件
- 第七号議案 経理規程細則一部変更の件
- 第八号議案 資金運用の件
- 第九号議案 経王寺との裁判の弁護士費用支払いの件

②登記事項

資産の総額の登記 金40億1940万1598円 令和5年3月31日変更

③その他重要な契約(100万円以上のものを抜粋)

- 令和5年4月25日 グリーンヒル淳風
第1期増改築工事の追加工事
花谷建設株式会社 (1,650,000円)
- 令和5年4月25日 グリーンヒル淳風
ボイラー入替費用
関西ガス株式会社 (7,300,000円)
- 令和5年7月22日 淳風おおさか
4階浴室改装工事
株式会社ゆう建築設計 (1,100,000円)
- 令和5年8月22日 淳風おおさか
車両(N-BOX)購入
東洋自動車株式会社 (1,998,720円)
- 令和5年10月24日 淳風とよなかI
1階厨房改修工事・機器入替
三和厨房 (8,250,000円)
- 令和5年10月26日 淳風なみよけ
6階～9階(東側)漏水改修工事
山中建築工房株式会社 (1,268,300円)
- 令和5年11月11日 グリーンヒル淳風
食堂設置用椅子
アイリスチトセ株式会社 (1,336,500円)
- 令和5年11月13日 淳風おおさか
4階浴室改装工事
正南建設 (9,300,000円)
- 令和5年12月18日 淳風とよなかI
居室ベッド入替(30台)
福祉用具淳風きたじょう (3,139,400円)
- 令和6年2月18日 グリーンヒル淳風
施設管理業務
ダイキンエアテクノ株式会社 (1,508,760円)

令和6年2月21日 淳風なみよけ
送迎車両
東洋自動車株式会社
住友三井オートサービス株式会社
(リース契約 61,000 円/月×72回)

④経王寺との裁判

令和5年4月19日 弁論準備期日 出頭 原告代理人 廣田弁護士
当方代理人 小出弁護士

原告から準備書面及びメモが提出され、下記について主張
当方が波除福社会の乗っ取り行為の画策を始めた時期について、
「～遅くとも平成13年頃までに、加藤氏が原告代表役員及び波除
福社会の理事を辞任している事を奇貨として、原告を利用して、
波除福社会の債務のみを返済した上、波除福社会を乗っ取るこ
を考えた。」

当方は、従前の準備書面を補足する内容の準備書面を提出加えて
経王寺の土地等の不動産登記簿や大阪地裁14民事部の競売に関す
る決定等を証拠として提出し以下説明

経王寺に対する不動産競売が終了し、波除保育園敷地を含めた4
つの物件については、超過売却を理由に競売手続きが取り消され
ている点

上記原告の主張に対しては、次回期日の原告の主張を持って次々
回に反論予定

令和5年6月6日 弁論準備期日 出頭 原告代理人 廣田弁護士
当方代理人 小出弁護士

原告から、準備書面を提出したが、裁判所の指示により、さらに
これらの主張を裏付ける証拠を6月末までに提出する事になった
当方は、原告と波除福社会との間で貸金を返済する約束などなか
った旨を立証するための証拠を提出した

次回期日：令和5年8月22日10時

令和5年7月13日 小出弁護士より以下内容書類受領

原告から準備書面（令和5年7月3日付、同7月12日付）及び関
係証拠（甲24から30）が提出された。また、証人申請（加藤眞一
、氏家三善、山田政信）をした。各証人は陳述書も提出（甲26
から28）。ただ、裁判所が全ての証人を採用するかは分からない。
当方はこれまでに準備書面（令和5年6月9日付）等を提出

次回期日：令和5年8月22日10時

令和5年8月7日 小出弁護士と打ち合わせ

質問事項に基づき、西村理事長に確認され、準備書面案を修正

令和5年8月22日 弁論準備期日 出頭 原告代理人 廣田弁護士 中村弁護士

当方代理人 小出弁護士

原告は、準備書面3及び4を提出。合わせてのぞみ信用組合の取引履歴、山田政信の日記帳を証拠として提出（甲24、甲25）さらに、関係者（加藤、氏家、山田）の陳述書（甲26～甲28）を提出したうえで、各人の尋問を申請した。加えて、今後原告は西村淳農氏と同良廣氏の証人申請もする方針。

当方は、準備書面を提出し、原告準備書面2～5に対し、「原告と波除福社会との間でのぞみ信金からの貸金を返済する約束」等なかった旨を反論し、さらに、原告の損害賠償請求権は時効消滅しているとの反論（時効の主張）をし、あわせて、経王寺の閉鎖事項謄本や地代請求事件の判決などを証拠（乙32～乙35）として提出。

- 令和5年9月14日 小出弁護士より以下書類受領
陳述書（案）を受け取る。これについて9月25日小出弁護士と打ち合わせ予定。
- 令和5年9月25日 小出弁護士と打ち合わせ
上記陳述書（案）について小出弁護士より確認。
- 令和5年10月3日 弁論準備期日 出頭 原告代理人 廣田弁護士 当方代理人 小出弁護士
原告は特になし。
当方は、これまでの裁判（賃料増額確認等請求事件、不当利得金返還請求事件）での関係者の尋問調書や西村理事長の陳述書等を証拠（乙36～41）として提出。
- 令和5年11月13日 小出弁護士事務所にて11月15日実施の証人尋問の打ち合わせ
令和5年11月15日 尋問手続
原告は、氏家氏、加藤氏への主尋問と反対尋問、裁判官の尋問があった。
当方は、西村良廣氏への主尋問と反対尋問、裁判官の尋問があった。
事前に24民事部の別件の貸金返還請求事件（原告：のぞみ信用組合、被告：経王寺）において謄写していた「変更契約証書（平成17年7月29日付）」を証拠（乙42）として提出しました。これにより、平成16年4月1日に淳農氏が経王寺代表役員代務者を辞任された後に、加藤氏が従前の変更契約（平成13年5月25日）を変更していたことが分かる。
和解手続
裁判官より本件の和解による解決の可能性を問われたが、原告側は「当方がのぞみ信用組合への貸金（約2億5000万円）の支払をするのと代わりに、波除福社会館の敷地（4-17、4-18）の所有権を移転する。」ことを求めており、およそ当方は受け入れられな

- い考え。追って、原告は具体的な和解案を提出する予定。
- 令和5年12月4日 小出弁護士より提案書（和解案）を受け取る。
12月5日 原告の和解案には応じないことを確認。
- 令和5年12月6日 和解 出頭 原告代理人 廣田弁護士、中村弁護士
当方代理人 小出弁護士
原告からの和解案の要旨は、「①淳風会が波除保育園の敷（4-17, 4-18）を金1億円で 買い上げる。②これによって、淳風会・西村良廣氏、淳農氏との間を一切精算する（清算条項）」との内容。
当方は、裁判官に上記各土地が競売に付されたときの評価書（令和3年1月7日付）を示し、「更地価格に無償の法定地上権割合（60%）を控除した上で、さらに、市場制修正と競売市場修正をし、合計4368万円で評価された」ことを指摘し、「競売価格の2倍以上の1億円もの価格を支出して購入することは出来ない」と述べ、原告の和解案には応じられないと回答した。また、和解条項の清算条項に対して、「経王寺との間の紛争は、そもそもこの20年間ほどの数々の法廷闘争で決着が付いており、今更、清算条項を付ける意味はない」旨を反論。これに対し、裁判所から当方に対し「法定地上権に基づく敷地利用権の控除の点からすると、原告が買取額とする1億円は、それほど過大ではないとも考えられる」ので、和解案の再度の検討求められ、次回12/15 11:30に和解期日が入った。
- 令和5年12月11日 小出弁護士来訪打ち合わせ
打ち合わせメモについて小出弁護士より説明され、和解案に応じないことを確認する。
- 令和5年12月18日 和解 出頭 原告代理人 廣田弁護士 当方代理人 小出弁護士
原告からは前回同様の和解案提示。
当方は予定通り原告の和解案には応じられないと回答以上、和解手続きは終了し、当初の予定通り、令和6年2月16日（金、午後1時10分）に判決が言い渡される。この判決に不服のある場合には、その当事者は判決書を受領した翌日から14日以内に控訴できる。なお、別件（大阪地方裁判所24民事部、原告のぞみ信金、被告：経王寺）の事件は、経王寺が敗訴しているが、前日、控訴した。
- 令和6年1月10日 小出弁護士より書類受領
・原告準備書面(7)訂正版(令和6年1月10日付)
・原告証拠説明書(6)(令和6年1月9日付)
・甲31号証
- 令和6年2月16日 大阪地方裁判所判決言渡しがあり、当方の全面勝訴となる

主文 1 原告の請求をいずれも棄却する
2 控訴費用は原告の負担とする

令和6年3月4日 小出弁護士より連絡
大阪地裁 25 民事部より、経王寺が控訴したと連絡があった
代理人は、一審と同じ廣田弁護士

令和6年3月8日 小出弁護士来訪
裁判判決についての報告
弁護士報酬の支払いについて

令和6年3月12日 小出弁護士より書類受領
・請求書（合計金額 12,684,210 円、源泉所得税控除額▲
2,252,550 円、差引総額合計額（支払い振込額）10,431,660
円）

令和6年3月15日 令和5年度第6回理事会開催
上記の支払いについて審議の結果、承認される

令和6年3月29日 弁護士報酬支払い完了

令和5年度給与・賞与支給額 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位：円

拠点名	人数	総支給額 (総額)	差引支給額 (総額)	総支給額 (平均)	差引支給額 (平均)
法人本部	正職員	38,120,736	29,668,110	4,765,092	3,708,514
	契約職員	5,147,342	4,549,746	1,286,836	1,137,437
グリーンヒル 淳風	正職員	85,847,627	66,992,920	3,732,506	2,912,736
	契約職員	42,861,252	38,788,521	974,119	881,557
淳風とよなか	正職員	197,823,765	153,514,214	3,878,897	3,010,083
	契約職員	60,484,749	50,737,022	1,591,704	1,335,185
淳風とよなかⅡ	正職員	240,440,923	187,473,993	4,218,262	3,289,017
	契約職員	57,609,286	49,646,309	1,107,871	954,737
淳風おおさか	正職員	267,513,847	208,877,195	3,767,801	2,941,932
	契約職員	55,160,822	47,324,169	1,451,601	1,245,373
淳風なみよけ	正職員	81,743,969	63,794,921	3,892,570	3,037,853
	契約職員	55,450,883	45,575,570	1,386,272	1,139,389
波除学園	正職員	121,819,290	92,896,830	4,200,665	3,203,339
	契約職員	38,723,511	29,765,089	2,038,080	1,566,584
安治川保育園	正職員	92,374,639	71,486,049	4,198,847	3,249,366
	契約職員	34,095,866	27,763,483	1,704,793	1,388,174
田中保育所	正職員	55,008,919	42,222,741	3,929,209	3,015,910
	契約職員	21,033,871	17,421,285	1,402,258	1,161,419
西保育園	正職員	52,879,062	40,424,361	4,406,589	3,368,697
	契約職員	17,667,914	15,523,082	1,261,994	1,108,792
子育て支援	正職員	7,313,689	5,811,160	3,656,845	2,905,580
	契約職員	55,156,823	47,720,419	1,199,061	1,037,400
法人全体	正職員	1,240,886,466	963,162,494	4,002,860	3,106,976
	契約職員	443,392,319	374,814,695	1,343,613	1,135,802

年度途中の入退職者も人数に含む(1人としてカウント)。上記により平均を算出しているため、実態より低い金額となる。

正職員には嘱託職員も含む。契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む。「子育て支援」認定こども園・保育園(所)以外の子育て支援事業部の事業所

令和5年度退職率

		R5.4.1 在籍人数	R6.4.1 在籍人数	R5年度 退職人数	退職率
法人本部	正職員	7	7	0	0.0%
	契約職員	5	5	0	0.0%
グリーンヒル 淳風	正職員	20	13	7	35.0%
	契約職員	38	35	3	7.9%
淳風とよなか	正職員	46	41	5	10.9%
	契約職員	30	28	2	6.7%
淳風とよなかⅡ	正職員	53	48	5	9.4%
	契約職員	48	43	5	10.4%
淳風おおさか	正職員	63	58	5	7.9%
	契約職員	31	29	2	6.5%
淳風なみよけ	正職員	19	15	4	21.1%
	契約職員	33	28	5	15.2%
波除学園	正職員	29	26	3	10.3%
	契約職員	16	15	1	6.3%
安治川保育園	正職員	21	19	2	9.5%
	契約職員	18	17	1	5.6%
田中保育所	正職員	12	10	2	16.7%
	契約職員	14	11	3	21.4%
西保育園	正職員	12	10	2	16.7%
	契約職員	14	13	1	7.1%
子育て支援	正職員	2	0	2	100.0%
	契約職員	35	26	9	25.7%
法人全体	正職員	284	247	37	13.0%
	契約職員	282	250	32	11.3%

退職率は「1年前に在籍している、かつ令和5年度中の退職者」を「1年前の在籍者」で除した割合。

正職員には嘱託職員も含む。

契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む。

(公財)介護労働安定センター「令和4年度「介護労働実態調査」：離職率14.3%

職員状況

令和6年3月31日現在

	10代			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			合計			
	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	人数	割合	勤続年数	平均年齢
正職員	0	0.0%	-	12	2.1%	1.8	32	5.6%	5.6	46	8.1%	10	19	3.4%	8.9	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	109	19.2%	7.6	41.5
嘱託職員	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	2	0.4%	22	1	0.2%	10	0	0.0%	-	3	0.5%	18	68.3
契約職員	3	0.5%	0	5	0.9%	0.2	6	1.1%	4.8	7	1.2%	2.3	8	1.4%	4	7	1.2%	3.3	12	2.1%	8.4	0	0.0%	-	48	8.5%	4.2	51.6
計	3	0.5%	0	17	3.0%	1.3	38	6.7%	5.4	53	9.3%	8.9	27	4.8%	7.5	9	1.6%	7.4	13	2.3%	8.5	0	0.0%	-	160	28.2%	6.8	45
女性																												
正職員	0	0.0%	-	34	6.0%	2.8	30	5.3%	9.5	49	8.6%	9.3	44	7.8%	11.6	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	157	27.7%	8.6	41.2
嘱託職員	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	8	1.4%	9.6	0	0.0%	-	0	0.0%	-	1	0.2%	53	14.4
契約職員	0	0.0%	-	13	2.3%	2.4	31	5.5%	4	37	6.5%	5.6	65	11.5%	6.8	53	9.3%	6.1	40	7.1%	11	2	0.4%	10	241	42.5%	6.6	54.8
計	0	0.0%	-	47	8.3%	2.7	61	10.8%	6.7	86	15.2%	7.6	109	19.2%	8.7	61	10.8%	6.6	40	7.1%	11	3	0.5%	24.3	407	71.8%	7.5	49.8
合計																												
正職員	0	0.0%	-	46	8.1%	2.5	62	10.9%	7.5	95	16.8%	9.6	63	11.1%	10.8	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	266	46.9%	8.2	41.3
嘱託職員	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	0	0.0%	-	10	1.8%	12.1	1	0.2%	10	1	0.2%	53	12	2.1%	15.3	66.4
契約職員	3	0.5%	0	18	3.2%	1.8	37	6.5%	4.1	44	7.8%	5	73	12.9%	6.5	60	10.6%	5.8	52	9.2%	10.4	2	0.4%	10	289	51.0%	6.2	54.3
計	3	0.5%	0	64	11.3%	2.3	99	17.5%	6.2	139	24.5%	8.1	136	24.0%	8.5	70	12.3%	6.7	53	9.3%	10.4	3	0.5%	24.3	567	100%	7.3	48.5

※契約職員には期間契約職員、準職員、登録ヘルパーを含む

令和5年度有休消化日数

拠点名	有休日数 (日)	延人数 (人)	平均取得日数 (日)	拠点名	有休日数 (日)	延人数 (人)	平均取得日数 (日)
法人本部	134.7	155	10.4	波除学園	648.3	540	14.4
グリーンヒル淳風	793	689	13.8	安治川保育園	518.6	475	13.1
淳風とよなか	736.2	954	9.3	田中保育所	485	306	19
淳風とよなかII	1131	1239	11	西保育園	421.8	301	16.8
淳風おおさか	1068.6	1151	11.1	子育て支援	446.1	452	11.8
淳風なみよけ	809.3	642	15.1				
				法人全体	7192.6	6904	12.5

集計期間：R5年4月1日～R6年3月31日
有休日数には時間有休を含む

○年次有給休暇の年間平均取得日数の計算式
年間平均取得日数 = 算定期間中の毎月の実休取得日数の合計 ÷ 12

「子育て支援」認定こども園・保育園(所) 以外の子育て支援事業部の事業所
(公財)介護労働安定センター
令和4年度「介護労働実態調査」
有休平均取得(消化日数):7.8

社会福祉法人淳風会 退職理由まとめ

法人本部 総務人事課

「アンケートデータの留意事項」

令和5年7月以降の退職者について、各施設長等及び退職した職員（61名）の双方よりの退職理由等の調査を行った。

本資料の対象期間：令和5年7月～令和6年3月（全拠点を対象）

離職理由は令和3年度 介護労働実態調査（公益財団法人介護労働安定センター）で上位のものとし、集計の簡便さを考慮し、類似と思われる項目はまとめた。

退職者からのアンケートについては「各拠点に個別の回答を開示しないこと」「匿名可」「全ての質問を任意」とした上で、郵送・Webの双方から回答を受け付けた。結果、61名中17名（回収率27.9%）から回答を得た。

1 施設長等からの退職理由調査の概要

【退職理由】

表1に退職理由（択一式）の結果を示し、全国平均と法人全体を%で比較した（図1）。

表1 退職理由（択一式）（人）

退職理由	淳風会合計（人）
職場の人間関係に問題があったため	9
結婚・出産・妊娠・育児・家族の介護・家族の転居のため	7
自分に向かない・将来の見込みが立たなかったため	10
収入が少なかったため	1
他に良い仕事・職場があったため（キャリアアップ・キャリアチェンジ）	10
法人や施設の理念や運営に不満があったため	0
退職勧奨	1
定年・雇用契約の満了	10
病気・怪我や高齢のため	7
その他	6
合計	61

図1より、全国平均と比較し、退職理由「収入が少ない」が少ない。当法人の賃金水準は全国平均を上回っており、その結果が反映されたと考えられる。

それに対して「定年・雇用契約満了」や「病気や高齢等」を理由とした退職は多い。「定年・雇用契約満了」については留学生等の1年程度未満のアルバイトの退職もこの項目に分類したためと考えられる。「病気や高齢等」については高齢職員が一定数在籍していることも一因と考えられる。

男女別の離職理由の1位は、男性は「自分に向かない・将来の見込みが立たない」が22%（女性は14%）、女性は「他に良い仕事・職場があったため」が19%（男性11%）であった。

離職理由 全国平均との比較

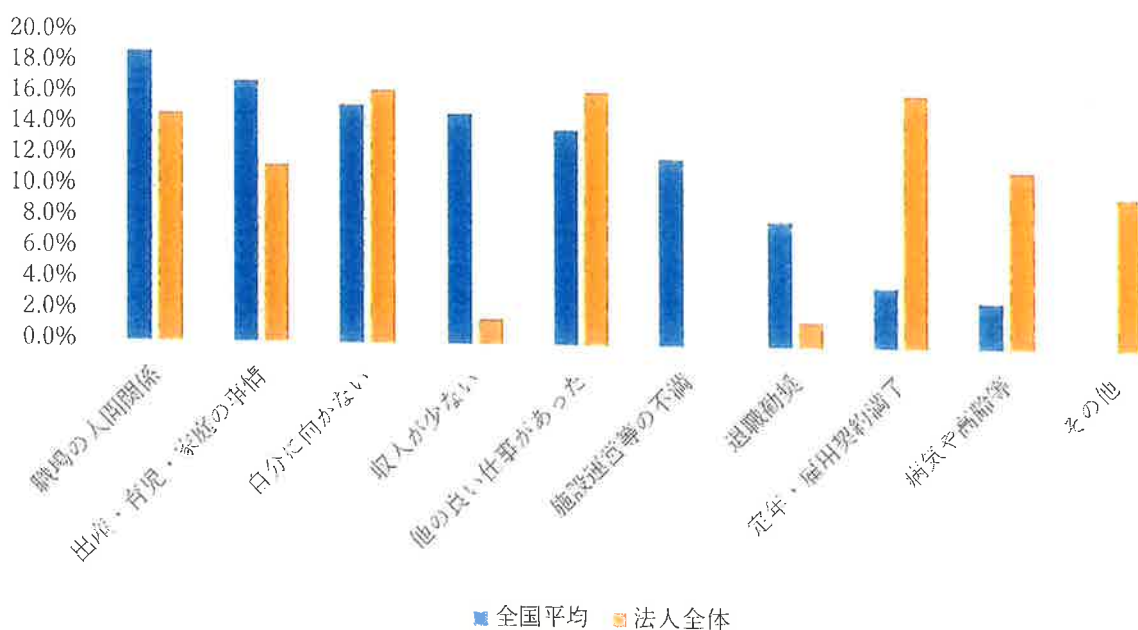


図1 全国平均による離職理由と法人全体の割合の比較

全国平均は令和3年度介護労働実態調査より。介護労働実態調査は複数回答可だが、法人内の調査は択一回答としている。

【雇用のミスマッチ】

雇入れ時にミスマッチが起こっているかどうかを調べるために、施設長に退職者に残って欲しかったかどうかを確認した結果、退職者の内、16%は辞めて欲しい職員（退職勧奨等を含む）であった（表2）。男女別で大きな差は見られなかった。同様に在籍年数別でも「1年未満」「1年～3年未満」「3年～6年未満」「6年～10年未満」の区分でも割合に大きな差は見られなかった。

一方で、年齢別では「40代」（29%）、「50代」（25%）、「10・20代」（18%）の順に割合が高い結果となった。

表2 退職者への評価（人）残って欲しかったか・辞めて欲しかったかを調査

退職者への評価	淳風会合計(人)	男(人)	女(人)	男(%)	女(%)
残って欲しかった	33	10	23	56%	53%
辞めて欲しかった	10	3	7	17%	16%
分からない	18	5	13	28%	30%
合計	61	18	43		

2 退職者からのアンケート結果の概要

【退職理由】

『ホンネの退職理由を伝えない割合が7割になる』(エン転職 Web アンケート) というデータもあり、施設側が把握している理由と、本当の離職理由とが乖離している可能性がある。その可能性を考慮するため、退職者からの退職理由の調査と合わせると乖離していたものは2名(17名中)であり、真の退職理由はほぼ把握できているものと考えられる。

【ハラスメントの有無】

退職者にハラスメントの有無を調査すると、「ハラスメントを受けた」1名、「ハラスメントを目撃した」2名となった。3名ともハラスメントの種別は「パワーハラスメント」である。

「ハラスメントを受けた」「ハラスメントを目撃した」の各1名が退職の一因となったと回答した。

記名があった2名については追加調査を試みたが、1名は回答したくないと連絡があり、もう1名は連絡がとれなかった。

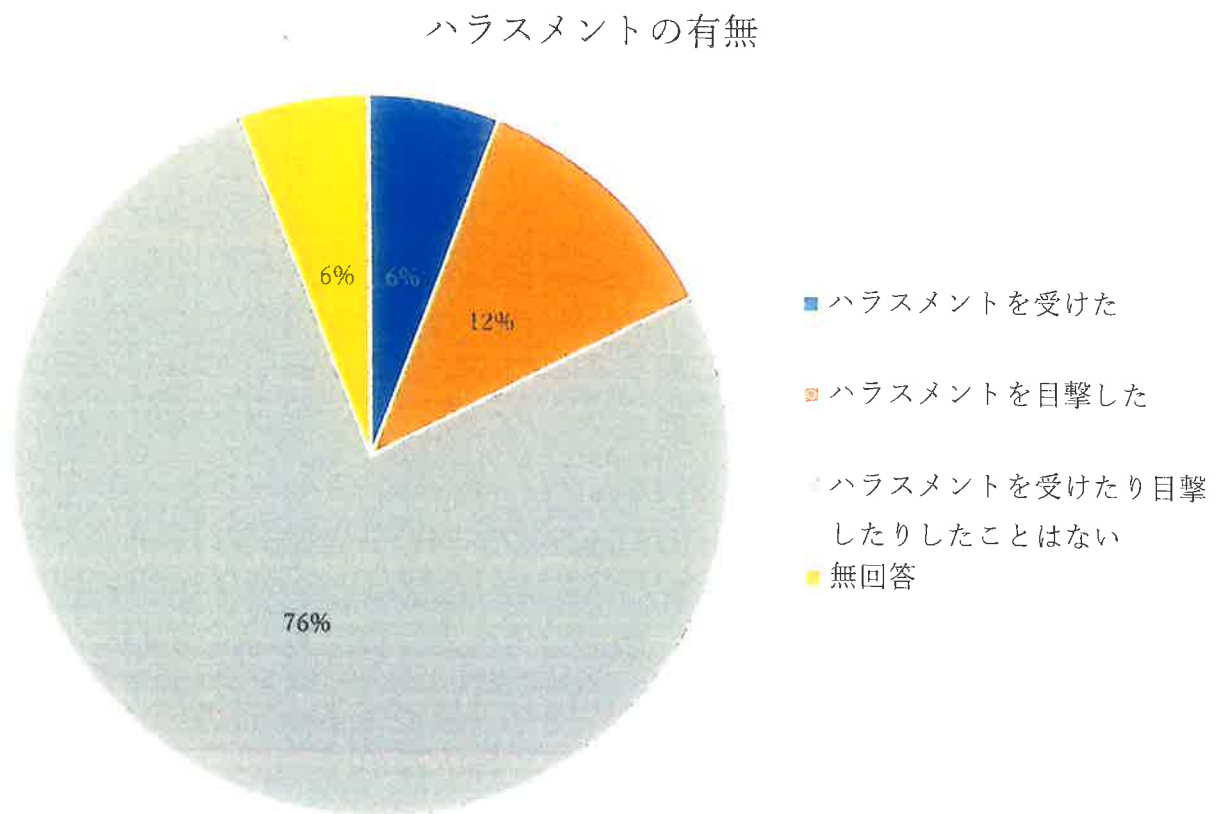


図2 ハラスメントの有無 選択肢は3つ「ハラスメントを受けた」「ハラスメントを目撃した」「ハラスメントを受けたり目撃したりしたことはない」。

【淳風会に対する感想・満足度】

淳風会への評価・満足度を5段階（とても満足・満足・やや満足・不満・とても不満）で質問した。「とても満足」を5、「とても不満」を1で点数化した（表3）。

「労働時間・残業時間」「休日・休暇の取得のしやすさ」については不満も少なく、評価も比較的高い。一方で、「自分のキャリアパス（キャリアデザイン）、職場での将来の見通しが描けていたかどうか」は平均点も低く、不満を感じる人も多い結果となった。

表3 淳風会に対する退職者からの評価 各項目を1～5点で点数化。平均点で5点に近い程、満足度が高い。各項目に目立った分布の偏りはなかった。「不満」「とても不満」を選んだ人数も合わせて表記している。

項目	平均点	不満・とても不満の人数(人)
淳風会に対する総合的な感想	3.4	4
職場環境（職場の場所、建物、設備等）	3.3	4
労働時間・残業時間	3.6	1
職場での自分の役割・職務の内容、仕事量	3.3	5
自分への人事評価	3.2	5
自分のキャリアパス（キャリアデザイン）、職場での将来の見通しが描けていたかどうか	2.4	11
給料（自身の仕事に対する給料水準の適正さ）	3.2	3
休日・休暇の取得のしやすさ	3.6	2
外部研修の機会や職場内での研修	3	5
福利厚生	3.4	4
施設長・園長等との関係	3.3	4
直属の上司との関係	3.3	5

【退職者からのアンケート（自由記述欄）】

アンケートの自由記述欄を下記に箇条書きで記載した。個人が特定されないように一部改変している。

- ●年間、お世話になりました！！働かせて頂いて感謝しております。貴法人のご活躍を心から祈念申し上げます。
- 嘱託扱いがなく、高齢でも時給がそのままなのはおかしい。
- 研修やイベントに参加させていただいたのは貴重な経験となり充実した日々を過ごす事ができました。ありがとうございました。
色々と助けていただき、ご支援いただいたのに期待に添える事ができず、申し訳ございません。短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 短い期間ではありましたが、とても素晴らしい経験となりました。本当にありがとうございました。
- 拠点長をはじめ、同僚の皆さんとの人間関係も良好で、楽しい職場でした。長い間お世話になり、ありがとうございました。
- 人員が少なく休憩時間すらとれない日もあり頑張っのりきったつもりでしたが、やって当たり前なところや評価されず、ともしんどかったです。ボーナスで頑張った評価が少しでもあるかと思いましたが、カットと残念な結果でした。
- ●歳まで働くつもりだったのに残念です。担当部署内で次々と退職していく現状を放置していたことは問題だと思います。残った人たちで何とかがんばりましたが、あまりにも雰囲気が変わってしまいました。改善を求めても対応してもらえず残念でした。
- 資格を取得させていただき大変感謝しております
本当にお世話になりました。ありがとうございました
- 退職の話がでも面談もなく（私が知る限り先に退職された人全員）、退職者の意見は聞かず、去るもの追わずの考え方に理解出来ない。頑張ってきたのも評価してくれていない。職場も大変だったので助け合ってきたつもりだけど、感謝もされず、本当にひどい職場です。
数ヶ月前に退職の旨申し出て、退職直前に延ばしてもらえないかと言われた。そんな理不尽な事が罷り通るのか。退職後、引き継ぎに出てきてくれるかと言われたが、流石に断るしかなかった。相手の気持ちも考えず利用されるだけ利用して平気なんだと思う。まともな人は残らずに去っていき、ぬるま湯につかるのでいい人だけが残っている。
退職者へのこのアンケートだけは 良い事だと思う。言えずに退職していった人も大勢いた。
- 今まで他法人で就業もしていましたが、淳風では暖かく見守り頂き、有難い思いです。お世話になり、本当に感謝申し上げます。
一つだけ改善をお願いしたいのは休暇についてです。施設基準でなく、土・日を休みとしている部署の休みについて見直して頂き、若い職員や有能な職員を確保できる福利厚生を是非ご検討下さい。いい人材を逃されません様にと願います。
- しっかりした組織で研修などもちゃんと行われており、良い職場だと思います。他の職員さんもよい方ばかりで、もし仕事の内容に満足できていたら、ずっと働きたい職場でした。

令和5年度事業報告

グリーンヒル淳風拠点区分

- ・ ケアハウスグリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービスグリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービス（障害福祉）グリーンヒル淳風
- ・ 訪問介護サービス（移動支援）グリーンヒル淳風
- ・ 居宅介護支援事業所グリーンヒル淳風
- ・ グリーンヒル淳風デイサービスセンター
- ・ 寝屋川市第六中学校区地域包括支援センター
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業グリーンヒル淳風
- ・ 相談支援事業グリーンヒル淳風

理事会で承認されました、令和5年度の事業計画において下記4点を全体目標として各事業運営しましたので報告致します。

I、令和5年度グリーンヒル淳風の全体目標

1. 居心地の良い空間作り
 - ・ 増築改修工事が完了。1階の玄関口やフロア、食堂内も明るい雰囲気と変わる。また中庭改修後は再びご入居者やご家族との憩いの場となっている。食堂内の新たな椅子も座り心地が良く、入居者からも好評。
2. 稼働率向上につなげるより良いサービス提供の実現
 - ・ 基本的な感染予防対策は継続しながらも、ご入居者の外出外泊、ご家族の居室内面会を第4四半期から再開。本来のケアハウスである自由な生活スタイルに戻すことで現ご入居者だけでなく、入居相談者にとっても安心に繋がっていることを感じている。
 - ・ グリーンヒル淳風としての営業活動には至らず、事業所間連携による営業からの稼働向上は次年度の課題となる。
3. 人材の確保と育成
 - ・ 法人本部とも連携のうえ求人活動を図るが人材確保には至らず、人材の育成も出来ていない。各事業所管理者に偏っている業務負担軽減と新たなリーダー育成は次年度課題となる。
4. 地域に向けた活動
 - ・ 地域サロンにはケアハウスとデイサービスの生活相談員が継続して参加。出前講座の開催などから参加されている住民だけでなく、校区福祉委員や民生委員、地域包括支援センター職員との関係性も深まっている。次年度も参加依頼があり継続していく。

II、各事業の報告

1. ケアハウス

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	90%	80.0%	90%	88.0%	98%	88.6%	98%	89.4%
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	94%		86.7%		96%		81.0%	

【令和5年度】新入居者数：16名、退居者数：12名。月初入居者数（平均）：42.5名。
体験入居者13名（うち7名が入居）

- ・年度当初の入居相談、施設見学は月平均5件であったが、紹介業者や包括、病院等からの紹介も増加して秋以降は月平均10件。新入居者数は増加傾向にあったが、ADL低下や認知症進行による他施設転居の方も多く、入居者確保に至らず。
- ・年間を通じての計画的な営業活動が不十分であった。営業先やキーマン、情報等を管理者クラスが共有できる仕組みを構築のうえ次年度営業に努めていく。
- ・2月より居室内でのご家族面会、ご入居者の外泊等、新型コロナ感染前の対応に変更。交流機会の増加はご入居者やご家族だけでなく、入居を検討される方にとっても安心材料のひとつとなった。

2. 訪問介護事業

(時間/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
提供時間	1,000	956:26	1,000	897:03	1,000	847:43	1,000	789:57
	今年度累計				前年度累計			
(時間/月平均)	計画		実績		計画		実績	
提供時間	1,000		872:47		1,200		994:32	

【令和5年度】新規利用 29名 サービス終了 30名

- ・4月末に業務移動中の事故で療養していたサービス提供責任者が10月に復帰するも別のサービス提供責任者が12月末で退職。人材確保が整わず、年間を通じて管理者、サ責の2名体制のなか、積極的な新規利用者（月平均2.5名）の受入れも長期入院者や施設入居等から終了者も多く、サービス提供時間数が低下。
- ・登録ヘルパーを含めたミーティングでは感染予防対策、認知症対応等の研修を継続。職員個々のスキルアップも図れたことから次年度も継続していく。

3. 通所介護

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	80%	63.1%	80%	53.0%	85%	59.8%	85%	68.2%
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	82.5%		61.0%		85.0%		65.1%	

【令和5年度】新規登録利用者：18名 登録廃止者：14名 体験利用者：19名

- ・第3四半期までは退職や職員異動などから積極的な新規受入れを見合わせた時期もあった為、稼働率が低下。第4四半期より人員も整い、登録廃止者もあったが繋がりのある事業所からの新規利用者の紹介も増え、稼働率は少しずつ上昇。
- ・下半期の事業所ミーティングでは接遇に関する研修と利用者ニーズに関する意見交換を実施。コロナ感染緩和に伴い、紅葉や桜の見物外出の他、利用者参加型の喫茶やお好み焼き等の昼食作りは好評となった。また3月末のボランティア招聘による演奏会ではデイ利用者、ケアハウス入居者にも楽しんでいただいた。

4. 居宅介護支援事業所

(件数/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	128	118	91	100	71	55	63	40
予防件数	25	35	16	27	10	13	12	13
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
要介護件数	89		88.8		165		92.1	
予防件数	16		137.5		38		110.5	

- ・年間を通じて3名の退職があり、早期人員確保が整わず担当件数も大幅に減少。1月度に1名入職あり、2名体制のなか積極的な新規利用者確保に努めている。
- ・2024年度法改正に伴う情報と運営基準減算項目等については事業所ミーティングで随時確認。BCPについては次年度も見直しを継続していく。

5. 地域包括支援センター

(件数/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
直轄プラン件数	105	89	105	90	105	100	105	97
委託プラン件数	225	229	225	216	225	206	225	201
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
直轄プラン件数	105		89.5		105		98.4	
委託プラン件数	225		94.6		225		90.1	

- ・令和5年3月の事務所移転から1年が経過。コロナ感染予防の緩和に伴い、地域関係機関との対面会合から結びつきも深まり、寝屋川市モデル事業の「認知症になっても居場所づくり」の共同実施や新たな地域サロン開設に貢献できた。
- ・今年度は関西医科大学から看護学生(4名)の実習受け入れを行ない、職員が講師として対応。職員自身のスキルアップにも繋がり、次年度も継続予定。

令和5年度事業報告

淳風とよなか拠点区分

- ・ 特別養護老人ホーム淳風とよなか
- ・ 淳風とよなかショートステイ
- ・ 淳風とよなかデイサービスセンター
- ・ 淳風とよなか診療所
- ・ 生活困難者に対する相談支援事業淳風とよなか

理事会で承認されました、令和5年度の事業計画において、下記の5点を全体の目標として各事業を運営しましたので、報告いたします。

I. 令和5年度淳風とよなかI全体の目標

1、安定した収入による事業の運営

- ・ 本館特養は年末からの退去が続き稼働率が回復しきれなかったこと、デイサービスについては稼働率の横ばいが続き稼働率が上がらなかったことから、収入も予算より低値となった。
- ・ 設備整備においては、厨房改修工事・機器入替、デイサービスカーペット張替え、特養ベッド入替30台を行った。

2、働きやすい職場づくり

- ・ 部署によっては年次有給休暇の取得状況にバラツキはあるが、最低限の取得はできている。また、取得しやすい雰囲気はできてきている。人員が安定すると取得率も向上するため、継続して働きやすい環境づくりに努めたい。
- ・ 職員厚生会主催の親睦会（バーベキュー、新年会）も開催され、普段関わることの少ない部署の職員と交流を図ることができた。

3、次世代育成

- ・ 介護職員・看護職員が委員会に参加するなどのボトムアップを基本とした会議を行ったことでより具体的な話し合いが出来るようになった。
- ・ 役職者のモチベーションの向上に向けて、SLメンバーで管理者のイメージをプラスにするための話し合いを行った。管理者の職務と責任範囲の曖昧さが課題となった。次年度では育成等級表の読み替え、管理者職務部分掌の作成に取り組んでいく。

4、OJT、OFF-JT、自己研鑽の三位一体によるスキルアップ

- ・言葉づかいやおむつ交換や移乗介助等の基本的な OJT を計画的に行った。
- ・新型コロナが緩和され外部研修への参加が積極的に出来るようになった。また法人横断会議等の横の繋がりでの会議を行う事で、他施設の状況が見えるようになってきた。

5、地域と連携した災害時対応力の向上と改修・設備投資

- ・特養：ベッド30台、デイ：カーペット張替え、厨房：改修工事を行った。
- ・防災訓練も3月に行った。4月からは全事業所の取り組みとなるため、よりしっかりと行って行きたい。

II. 各事業の報告

1. 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率(特養)	97.6	99.7	97.6	98.1	97.6	94.3	97.6	95.1
稼働率(SS)	99.0	99.8	99.0	98.9	99.0	98.8	99.0	83.7
合算	97.6	99.7	97.6	98.2	97.6	94.8	97.6	93.8
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率(特養)	97.6		96.9		97.6		92.4	
稼働率(SS)	99.0		94.3		99.0		89.8	
合算	97.6		96.6		97.6		92.1	

① 特別養護老人ホーム

- ・平均介護度 3.99 (前年度 3.95)
- ・平均入院者数 1.28 名/日、退居者数 18 名 (内看取り介護 18 名)。気温の急激な変化により体調不良者が多くなった。退居や入院の数が多くなり目標未達成。
- ・言葉使いについては、互いに指摘し合う場面も多くみられ始め、意識向上したと言える。多方面で言葉使い改善に向けた取り組みが行ってきたため、今後も継続して注意喚起の場は設けていく必要がある。
- ・ノーリフト推進チームの取り組み内容が徐々に浸透し、移乗介助において良い視点での疑問の声も上がるようになり、ご入居者・職員双方にとって安全で安心したケアの考え方で、見直しが図れてきた。

② 短期入所生活介護

- ・特養の空きをショートステイのご利用者からのスライドで入居を行ったため、ショートの稼働率にも影響した。電話や FAX により小まめに営業を行ったが目標未達成。
- ・福祉用具の営業担当へ特養営業とショートステイの空床が出た際に空き情報

を渡して営業を依頼している。特養申し込み者へショートステイの営業活動を実施することでロングステイ利用へ繋げた。

2. 通所介護

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
(%/月平均)								
稼働率 76.3%	75.0	61.0	75.0	63.7	75.0	67.8	75.0	66.7
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	72.5		64.8		85.0		66.1	

- ・ 体験 50 名、新規 34 名、契約解除 29 名と体験・新規も多いが契約解除も多く稼働率は上昇したが目標には届かず、今後の営業活動が課題。
- ・ 関係の強い事業所から新規ご利用者の紹介をしていただいているが、今後は繋がり弱い事業所やケアマネジャーとも強い関係が築けるように居宅介護支援事業所の管理表を活用しながら営業活動を行って行く。
- ・ テーブル上のパーテーションも撤去できたことやダイルールのカーペットを張り替えたことで、ご利用者様の気分も明るく活気が出ているように感じる。パーテーションがないことで会話も弾んでおり作品作りやちょっとしたゲームも以前のようにできている。

3. 診療所

- ・ 必要な専門医療は、近くの専門病院に受診、看護職員も必要時同行することで、悪化予防につながっている。また、同行した看護職員にとってもよい学びの場となっている。
- ・ ふたばで看護加算を取るようになって、医療的な関わり、主治医、訪問看護との関わりも増えてきている。引き続き日常のプランに入れていけるよう考えていく。まずはデイサービス、小多機のカンファに看護職員参加を考える。

4. 生活困窮者レスキュー事業

- ・ 子ども食堂は地域の参加者から好評をいただいている。
- ・ ふれあい市は、ご入居者と地域の方の時間を分けずに開催できるようになった。また、ご入居者にとっても楽しみの一つとなっている。
- ・ 年末に地域の方におせち 18 食を配布及び販売した。地域の高齢者の経済状況や身体状況に合わせて希望者に無料又は有料で配達した。取り組みとしては 3 年目となり好評をいただいている。
- ・ ゴミ屋敷問題の解決にあたり、転居費用等として社会貢献基金より 10 万円の支援を行った。

Ⅲ. 主な設備整備

・ 厨房改修、機器入替	825 万円
・ 本館特養 ベッド入替	313 万円
・ 眠りスキャン6台、カメラ3台	73 万円
・ デイ フロアカーペット張替え	61 万円
・ 福祉車両入替	220 万円

令和5年度事業報告

淳風とよなかⅡ拠点区分

- ・地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか
- ・ユニット型淳風とよなかショートステイ
- ・居宅介護支援事業所淳風とよなか
- ・豊中市庄内地域包括支援センター
- ・訪問介護サービス淳風とよなか
- ・訪問介護サービス（障害福祉）淳風とよなか
- ・福祉用具淳風きたじょう（福祉用具貸与）
- ・福祉用具淳風きたじょう（特定福祉用具販売）
- ・島江シルバーハウジング
- ・小規模多機能ホーム淳風ふたば

理事会で承認されました、令和5年度の事業計画において、下記の5点を全体の目標として各事業を運営しましたので、報告致します。

I. 令和5年度淳風とよなかⅡ全体の目標

1、安定した収入による事業の運営

- ・各事業では予算との乖離は多少あったものの、全体では収入、支出共に予算通りで終わることができた。

2、働きやすい職場づくり

- ・各管理者が職場環境見直しへの姿勢を部下に示し、設備整備、業務見直しを積極的に行ったことで、提案や議論が増え、風通しがよくなったと感じている。
- ・職員会議研修でのグループワーク（毎月）、厚生会による日帰りバスツアーやサークル活動、地域貢献委員会による青空市や秋祭り、子ども食堂などの開催により、施設全体に新型コロナ明けを感じる活気があった。

3、次世代育成

- ・管理者の責務や業務について、毎月管理者全員で検討を行い、「やってみたい」と思える管理者像をまとめた。来年度は職務分掌を行い、具体的な業務とその評価基準案を作る予定。

4、OJT、OFF-JT、自己研鑽の三位一体によるスキルアップ

- ・職員全員が受講するスキルアップ研修を毎月開催。外部講師だけでなく、職員が講師になるシリーズもあり、OFF-JT、自己研鑽にはなったが、それぞれの関連性は薄く、三位一体とはならなかった。

5、地域と連携した災害時対応力の向上

- ・地域の防災訓練に在宅サービス事業の職員も参加し、顔の見える関係性の大切さを知ってもらうことができた。
- ・LINEWORKSを使った職員安否確認方法が決定したため、次年度はBCP訓練につなげていく。

II. 総務課

1、総務（労務・経理）

- ・ 資金繰りが厳しくなる年度末も社債取引による事業外収入等で乗り越えることができ、1年を通じて安定した運営ができた。
- ・ 労務、勤怠ソフトの導入が進む中、承認者となる管理者の理解不足が課題となった。

2、庶務

- ・ 節電対策が周知徹底されたことで、電気代はⅠ、Ⅱ合わせて前年度より 360 万円以上の削減達成。
- ・ 清掃方法の統一による効率化にむけて、マニュアルを作成。

3、栄養室

- ・ 厨房の改修工事により作業効率向上ができたため、引き続き、質と価格の維持に努めていく。
- ・ 今年度に導入した朝食の栄養スープによる摂取量向上に加え、褥瘡の発生件数の低下も見られたので、次年度は関係性を調査する予定。

III. 淳風とよなかⅡ各事業報告

1、地域密着型特別養護老人ホーム・ユニット型短期入所生活介護

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率（特養）	98.0	99.3	98.0	99.6	98.0	97.4	98.0	97.2
稼働率（SS）	99.0	93.0	99.0	97.5	99.0	97.7	99.0	94.9
合算	98.3	97.6	98.3	99.0	98.3	96.4	98.3	96.5

- ・ 下期に新型コロナの発生による入院者増と退去者6名（累計9名）により稼働率が低下。ただし、入退居についてはスムーズに行えており、大幅な低下に至らなかったことは、生活相談員の努力と評価している。
- ・ ショートステイのほぼ全員の利用者がロングステイであり、本来の機能としては課題が残った。
- ・ インカムや福祉用具の活用等による業務見直しと職員が安定していたことで、時期によっては余裕が生まれ、有給休暇の取得率が向上した。
- ・ 認知症カフェ（オレンジカフェ淳風とよなか）は新型コロナ発生の影響で次年度に持ち越し。代わりに地域の子育て支援団体によるカフェが1階の地域交流スペースにオープン。職員も利用しており、今後はお入居者の来店も予定。

2、訪問介護

(時間/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
提供時間数	1,450	1,384	1,550	1,342	1,450	1,374	1,450	1,269

- ・ 年度を通じて、契約時間と解約時間のバランスが悪く、新規獲得は進んだが、提供時間が伸び悩んだ。営業では主に自費サービスのPRを行い、認知され始め

ているので、次年度は成果を出したい。

- 管理者を含むサービス提供責任者の稼働率が安定し、個々のスキルアップの時間を作ることができた。

3、小規模多機能居宅介護

(件/期末)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
契約件数	21	22	23	23	26	22	26	21

- 下期に入院や入居による解約増え、右肩下がりとなった。また、契約数を優先したことで要支援者の割合が増え、収入が伸びず、単月で赤字になるなど、厳しい一年となった。
- 職員が安定しており、病院や事業所、地域方々との関係は深くなっているため、口コミを活用した営業展開を次年度検討している。

4、福祉用具貸与・販売

累計売上(円)	第1四半期		第2四半期	
	計画	実績	計画	実績
貸与	15,300,000	13,926,600	15,200,000	13,886,950
特定販売	1,200,000	495,200	900,000	553,770
収益	1,350,000	2,544,286	1,150,000	2,880,136
合計	17,850,000	16,966,086	17,250,000	15,990,057
累計売上(円)	第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績
貸与	15,000,000	13,959,820	15,000,000	14,186,790
特定販売	750,000	267,910	750,000	573,820
収益	1,050,000	2,094,451	1,050,000	20,540,419
合計	16,800,000	16,322,181	16,800,000	35,301,029

- 豊中市内の新規事業所開拓がほぼゼロ。営業エリアを広げるものの成果はなく、未達となった。
- 収益は新設特養の物件から介護養成校の備品まで、多方面からの注文があり、一年を通して目標を達成することができた。

5、居宅介護支援

() は実働

(件/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	157	164 (164)	157	163 (165)	157	155 (157)	157	137 (140)
予防件数	30	33 (32)	30	29 (29)	30	29 (30)	30	28 (27)

- ・ ケアマネジャー1名の入退職による一時的な減少に加え、入居や死亡による解約が多く、新規が間に合わなかったことで、第4四半期に大幅に低下した。
- ・ 今年度より取得開始した事業所加算Ⅰは継続。次年度は7名体制を目指す。

6、地域包括支援センター

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
(件/月平均)								
直轄プラン件数	177	156	189	155	190	154	190	149
委託プラン件数	650	650	650	674	650	676	650	679

- ・ 包括分室のあるマンションの1室を休憩室として借り上げ、職場環境を改善。賃料も委託料内で収めることができた。
- ・ 豊中さくら学園6年生140名を対象にキッズ認知症サポーター養成講座を実施。教員にも参加してもらった寸劇が生徒に好評だったこともあり、次年度も継続して開催することとなった。

7、シルバーハウジング

- ・ プロポーサル公募に参加し、前年より45万/月上乗せで、引き続き受託することができた。(令和6年4月～令和9年3月までの3年間)

8、主な設備整備

- ・ 包括分室 複合機入替 38.5万円
- ・ 制服Tシャツ 34.3万円
- ・ 密着特養シャワーキャリー 10.4万円

令和5年度事業報告

淳風おおさか拠点区分

- ・ 特別養護老人ホーム淳風おおさか
- ・ 淳風おおさかショートステイ
- ・ 淳風おおさかデイサービスセンター
- ・ 居宅介護支援事業所淳風おおさか
- ・ 大淀地域総合相談窓口
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業淳風おおさか

理事会で承認されました、令和5年度の事業計画において

① 接遇及び館内の美化

② 人財育成

③ 考える力の向上

以上の3点を全体の目標として各事業を運営しましたので報告致します。

① 接遇及び館内の美化

- ・ 虐待や不適切ケアが許されない雰囲気・環境作りを行う為に、再度強化を図ってきたが、職員同士が互いに少しおかしいなと思うことがあれば、上司に相談するなど、虐待や不適切ケアを事前に防ぐ雰囲気作りの効果が表れてきている。
- ・ 言葉使いについては、どの部署においても課題が散見される為、次年度の重点目標として取り組んでいく。

② 人財育成

- ・ 新入職者に対する研修プログラムは確立することができ、淳風おおさかでの経緯や考え方等の共通認識が行えるようになった。
- ・ OFF-JTについては、デイサービスは予定通り実施できたが、特養では実施できていない。次年度は人員不足を言い訳にせず、出来ることから実施していく。

③ 考える力の向上

- ・ サービス改善提案制度については、導入当初は様々な提案があったが、徐々にトーンダウン。制度の定着には至らなかったが、職員が自ら考えて提案できる制度は残しつつ、活用方法を模索していく。
- ・ 特養介護では自身が行いたいケアを行える時間「私の時間」を導入。継続して実施出来ており、遣り甲斐や考える力の向上が図れている。今後も継続していくと共に遣り甲斐に繋がるよう内容の充実を図る。

《各事業の報告》

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率(特養)	97.5	96.2	97.5	95.3	97.5	96.5	97.5	97.5
稼働率(ショート)	96.0	110.9	96.0	109.4	96.0	86.5	96.0	96.0
合算	97.3	97.7	97.3	97.0	97.3	95.4	97.3	97.3
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率(特養)	97.5		96.8		97.0		96.3	
稼働率(ショート)	96.0		100.7		87.8		79.9	
合算	97.3		96.9		95.9		94.5	

① 特別養護老人ホーム

- ・目標は未達。上期は特養空床とショートの調整が上手く凶れ、高稼働率を維持していたが、下期では通常ショートを段階的に再開したが、新型コロナの蔓延等が重なり、合算稼働率が低下した。
- ・基礎編 OFF-JT は淳風会(おおさか、とよなか)で発生した重大事故、高齢者虐待に関する事例を基に研修を実施。
- ・4階浴室環境は問題なく完了。フロア内の家庭浴で課題となっていた職員間のフォロー体制や、独り立ち後の再OJTが格段に改善されて、業務の効率化に繋がっている。
- ・私の時間については、今年度はフォロー表作成者が時間を設定し取り組んできたが来年度は各職員が主体的に空時間を活用できるように取り組んで行く。

② 短期入所生活介護

- ・ショートステイの問い合わせ時に生活相談員が不在でも対応できるように必要事項を確認する用紙を作成し、不在だけで終わらないようにすることができた。
- ・新型コロナが5類へ移行となつてからは施設で発生した際でもショートステイを停止せずにサービス提供を継続出来た。利用中に罹患した場合についても事前に態勢を整えていたことでスムーズに行うことができた。

③ 通所介護

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	68.0	66.2	68.0	61.1	68.0	57.6	68.0	55.7
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	68.0		60.1		71.0		62.4	

- ・目標未達。新規獲得は継続して行えているが、特養入所以外に有料等の施設への入所が増加した事と新規ご利用者の利用回数が少ないことが主な要因。

- ・通所介護計画書にそった報告書の様式に変更した事で、報告書の充実が少し図れた。個別ケアの充実に向けて、課題はあるが意識の向上が図れるよう継続していく。
- ・介護技術については、毎月 OFF-JT を開催し、根拠に基づいた説明と指導を行う事で理解は深まった。次年度も継続して行い、統一した介護技術が行えるようスタッフの育成を行っていく。

④ 居宅介護支援事業所

(件/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	123	115	126	113	128	111	133	105
予防件数	70	70	70	71	70	70	70	67.6
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
要介護件数	127.5		110.8		112.7		117.9	
予防件数	70		69.6		69.5		69.1	

- ・令和5年度の内部監査にて書類管理の基本的な部分から統一できていないとの指摘を受け、マニュアルの修正と共にマニュアルに沿った書類管理を再修正している状況。来年度も継続して実施していく。
- ・毎週のミーティングだけでなく適宜、事業所内で職員相互に相談できる環境は整っている。
- ・支援経過への記載項目や日付の整合性など重点的に確認。現状では事業所内の相互チェックなどを通して事業所内で共通の認識をもつことができている。

⑤ 大淀地域総合相談窓口

(件/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
総合相談実件数	10	19.3	10	19	10	20	10	22.6
総合相談延べ件数	50	72	50	61	50	83.3	50	77.3
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
総合相談実件数	10		20.2		10		21.7	
総合相談延べ件数	50		73.4		50		84.5	

- ・受託については、本年度で終了。引継ぎ業務も問題なく終了し、北区大淀地域包括支援センターに引き継ぐことが出来た。

⑥ その他
4階浴室改装工事
【施工前】



【施工後】





令和5年度事業報告

淳風なみよけ拠点区分

- ・ ケアハウスなみよけ
- ・ 市岡東在宅サービスステーションさくら
通所介護
居宅介護支援事業
- ・ ホームヘルプセンターさくら
- ・ 市岡東地域総合相談窓口
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業なみよけ

【施設運営方針】

「いつまでも住み慣れた地域で、安心して暮し続けることの実現」の支援を施設運営方針とし、その人らしい生活、尊厳ある生活を守り、ご利用者及び地域の方々に、安全・安心して生活ができるサービス提供の運営に努める。

令和3年4月より淳風会と合併しスタートするに当たり、淳風会の堅実な体制を取り入れ、波除福祉会の良い伝統を引き継ぎつつ、より良い運営が継続することを目指し、下記の4点の3か年計画の重点課題に揚げ取組みを進めてきた。

1. 業務継続に向けた取組の強化
2. 人員の適正化と後進育成ができる組織作り
3. 地域包括ケアシステム化における施設の役割強化
4. 改築・修繕計画の策定

過去3年はコロナ禍の影響を多大に受けた時期でもあった。具体的な後進育成の仕組みなどに課題を残し、慢性的な人手不足への対応に追われており、今後は新卒雇用等の対応に力を入れていく。

地域との関係を切らさず、地域の中の福祉拠点としての役割に努めており、地域との関係づくりは行えている。波除福祉会から淳風会になっても、何変わらず地域との顔の見える関係を継続し構築していく。

改築・修繕に関して大きな改築は行っていないが、今後も優先順位などを勘案し、計画的に行って行けるよう努めていく。

上記の3か年計画を踏まえ計画した令和5年度の事業計画において

- ① 制度改定を見据えた新たなサービスの構築と体制整備
- ② 選ばれる施設を目指す取組の強化
- ③ BCP 策定による継続的サービス提供の体制づくり

以上の3点を全体の目標として各事業を運営しましたので報告致します。

- ① 制度改定を見据えた新たなサービスの構築と体制整備
 - ・改定の目玉として見据えていた複合型サービスについて、通所介護・訪問介護の連携方法や実際の制度施行時のアイデアなど、拠点間の法人横断会議で議論してきた。結果的に次年度改定では見送られたが今後も継続的に検討を進める。
 - ・不確定要素が多かった制度改定も徐々に明らかになってきた。ご利用者への改定の説明を進め、大きな混乱もなく移行できている。
- ② 選ばれる施設を目指す取組の強化
 - ・各事業の稼働率定着を目指したスタッフの意識改革として、サービス向上委員会等にてスタッフ間で話し合い取組みを進めた。特にケアハウスの入居稼働率の定着は大きな課題であることを、スタッフ全体が理解することから始め、対応の見直しなど具体的な取組みを行った。
 - ・新年度においては、地域の方々との繋がり強化のために「出会いを大切にす意識を持つ」ことを目標とし地域に開かれた福祉拠点をを目指す取組みを始めている。
- ③ BCP 策定による継続的サービス提供の体制づくり
 - ・各事業所のBCP策定は完了し、介護保険改定に挙げられた運営基準減算には該当しない体制を整備した。
 - ・実際の有事の際の事業所間連携を明確にし、優先順位を定め継続的なサービス提供の体制を策定した。今後も実際の有事に適応できるよう訓練や見直しを継続的に行っていく。具体的には定期開催の委員会で検証などをしていく。

【各事業の報告】

I. ケアハウスなみよけ（軽費老人ホーム）

(%/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	100	81.1	100	90.0	100	90.0	100	90.0
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	100		87.8		100		89.4	

- ・令和6年3月末現在：要支援認定者：7名、要介護認定者：16名、自立：4名
- ・令和6年3月末現在：平均入居期間：5.20年（最長者：13.04年）
- ・年間の退去者数は3名（前年度は11名）あった。
- ・空床が生じないように、退去者が生じた際には直ぐに対応できるように、待機者との関係を切らさないように努め、結果的に後期では空床は生じなかった。
- ・認知症ケアが必要な方への対応など、ケアハウスの中で安心して暮らしていけるよう各ご入居者との関りを多く持てるよう努め、心配や不安に寄り添える対応や今直ぐできる具体的な見直しの三つのポイント「姿勢（心構え）」「対応」「営業」の実践を行った。

- ・コロナ禍で中断していた施設内行事を順次再開し、楽しみ作りの支援を強化した。

II. 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(時間/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
提供時間	1000	911:48	1000	858:15	1000	913:40	1000	846:15
	今年度累計				前年度累計			
(時間/月平均)	計画		実績		計画		実績	
提供時間	1000		882:29		1000		935:30	

- ・年間累計提供時間は前年度対比で94.3%と落ち込み、月の平均提供時間は882:29に留まり、目標の1000時間を達成することが出来なかった。
- ・年度末でサービス提供責任者が2名退職し、リーダー的なスタッフであったために引継ぎなどに課題が生じたが、新たに登用したスタッフの頑張りもあり、大きな支障はなく運営を継続できている。
- ・上記のこともあり、新たな取組みと挙げていた特定事業所加算Ⅱの算定に着手できなかった。新年度に入り具体的に取組みを再開し始め、機器等のハード面の整備を準備しており、近いうちに実質的な算定を始める予定。
- ・稼働率拡大に必要な人材確保に関して苦戦が続いているが、地道な雇用活動を行い事業継続に繋がるよう取組みを継続する。

III. 通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
(%/月平均)	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
稼働率	80.0	71.1	80.0	68.6	80.0	70.8	80.0	69.8
	今年度累計				前年度累計			
(%/月平均)	計画		実績		計画		実績	
稼働率	80.0		70.2		85.0		74.2	

- ・年間実利用者数は9,916名となり前年度対比で96.3%と減少し、年間延べ登録数も12,571名となり前年度対比で97.2%と減少し、稼働率目標を達成できなかった。
- ・減少の主な要因としては入居施設利用の回転が速くなり、実利用者の減少が新規ご利用者を上回っていることが挙げられる。
- ・ニーズの傾向として中重度者でも対応できる入浴の要望、利用時間が選べる対応の要望に応えられるよう努めた。結果的に車いす使用のご利用者が増加し、中重度者の割合が増加したため、送迎や入浴機器の見直しを感じている。また、介護スタッフの負担軽減をテーマに介護ロボット（移動支援機器など）を検証し、実際に機器に触れる取組みを行った。今後も検証を続けていく。

IV. 居宅介護支援事業所

実働数 (件/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
要介護件数	210	205.3	210	199.7	210	202.0	210	207.3
予防件数	84	79.0	84	89.7	84	92.7	84	84.7
実働数 (件/月平均)	今年度累計				前年度累計			
	計画		実績		計画		実績	
					上期	下期		
要介護件数	210		204.2		196	210	193.6	
予防件数	84		86.5		84	84	81.1	

- ・昨年に引き続き人員換算7.0名（内4名は主任介護支援専門員）でスタートし、年度途中（令和5年7月）に1名退職したが、直ぐ補充が叶い7.0名体制は維持することができた。新人スタッフは介護支援専門員として業務をすることが初めであったため、段階的に担当者数を増加するよう取り組み実働数は目標を目指した。過去最高の稼働者数を更新しているが、月の平均稼働者数はわずかに達成できなかった。
- ・年間実働数は要介護者が2,450名となり前年度対比で105.5%と増加、要支援者が1038名となり前年度対比で106.7%と増加し、ケアマネ一人当たりの担当者数平均は35.35名となり上限に近づいている。
- ・今後、事務所移転の取組みが進んでおり、具体的には令和6年第1四半期中に行う予定となっている。ケアマネジャーの確保が難しくなっているが、新規雇用の窓口を拡げ体制強化を進めていく。

V. 市岡地域総合相談窓口(ブランチ)

(件/月平均)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
総合相談実件数	10	30.0	10	24.7	10	27.0	10	26.3
総合相談延べ件数	50	130.0	50	108.0	50	90.3	50	111.7
(%/月平均)	今年度累計				前年度累計			
	計画		実績		計画		実績	
総合相談実件数	10		27.0		10		27.7	
総合相談延べ件数	50		110.0		50		133.3	

- ・総合相談実件数は324件となり前年度対比97.6%とわずかに減少、総合相談延べ件数は1,320件となり前年度対比82.6%と減少したが、大阪市が掲げる目標数値を上回った。
- ・コロナ禍で外出機会が奪われ、地域行事の中止が続いていたことにより、自らの居場所を求める支援が多かった時期に比べ、徐々に地域行事・イベントなどが再開されてきていることが減少の1つの要因となっている。行事でお会いするご利用者は具体的な相談ケースとしてカウントしていないので数値には表れない。

- 年度末で担当者の退職があり、新任者の雇用が叶い引継ぎを行った。大きなトラブルもなく新年度を迎えることができた。今後も地域や関係機関との顔の見える関係づくりに努めていく。
- 一つの課題として、虐待ケースの相談が増えており、一度終結したケースが再度通報されるなどの事例もあり、虐待の判断や対応が難しいケースがあり、これらのケースをどのように支援するか検討を進めている。具体的なケースとしては金銭的虐待を疑われるケースなどがあり、事実確認の難しいものがある。より関係機関を増やすことを念頭に対応強化に努めたい。

令和5年度がスタートし、すぐに新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行。少しずつコロナ禍の対応を緩めながら、それぞれの施設において工夫しながら取り組んだ1年であった。

令和5年度の共通重点的活動と成果

1. 安心・安全な保育環境づくりについて

年間計画に基づき、月1回の防災訓練（火災・地震・津波・不審者等）や救命講習等を行い非常時に備えた。また、食事中、睡眠時、水遊び中など事故が起こりやすい場面については特に留意し対応するとともに、ヒヤリハットやケガ報告等については必要に応じて情報共有し、より安全・安心できる環境づくりに努めた。

2. 職員の専門的知識・技能の向上と育成について

- (1) 看護や栄養などの専門的知識をもった職員の存在が園に厚みを持たせ、多角的に支援を行う事が出来た。又、それぞれの技能の向上にもなりお互いが良い刺激を受けて業務に役立てることが出来ている。支援の必要な子どもやご家庭については、状態により、こども相談センターや区役所と、公的専門機関との連携することが出来た。
- (2) 職員育成とキャリアアップを目的にキャリアパス制度を導入している。職務要件の明記・自己評価・他者による人事評価、職員育成シートによる自己の評価と施設長の自己評価、セルフチェックシートによる本人や周囲のメンタルチェック（セクハラ・パワハラ防止）や、折に触れ児童への適切な対応（虐待防止）の確認を行った。
- (3) 上長との面談を定期的に行い、職員一人ひとりとのコミュニケーションを図るとともに、自身や環境の振り返りを行うセルフチェックについては、今年度は全員が担当統括との面談を行った。面談のあり方など、色々と工夫しながら、今後のさらなる職場環境の適正化に活かしていきたい
- (4) 外部研修については、処遇改善加算Ⅱ受給要件となるため、オンラインも併せて、キャリアアップ研修への参加が増えた。

<年間研修実績>

	波除学園	安治川保育園	田中保育所	西保育園
オンライン研修	キャリアアップ 施設長・リスク管理 7回	キャリアアップ 離乳食・アレルギー 3回	キャリアアップ 1回	キャリアアップ 施設長 4回
外部研修	キャリアアップ 新採・人権保育・食育 特別支援・子育て支援 保育実践・テーマ別 看護師 29回	キャリアアップ・ 施設長・新採・看護師・ 特別支援・食育・人権保 育・リスク管理・テーマ 別 31回	新採・運動会・食育・ うたってあそぼう・ 特別支援・施設長・ 菜園・主任・リスク管 理 13回	キャリアアップ・施設 長・主任・エイサー・食 育推進ネットワーク・ 16回

令和5年度事業報告

認定こども園 波除学園拠点区分

・認定こども園 波除学園

1. 令和5年度の重点的活動と成果

- (1) コロナとの共存も3年目になるが、行事内容など各学年ごとに考え子ども達が無理なく取り組めるように進め、観覧人数を増やすなど工夫を行った。また年間を通して保育参加を行う事で保護者に園内での子ども達の様子を見てもらう良い機会となった。行事ごとに反省会を開き、問題点や改善点などを職員で話し合い振り返りを行う事が出来た。またクラスMTを行いクラスでの現状や子ども達の状況、悩み事や困り事など職員一人ひとりが話をする場を作る事が出来た。
- (2) 保育内容や保護者対応など様々な研修(キャリアアップ研修)に参加した。コロナ渦でZOOMでの研修が多かったが外部会場での研修が増え、他の職員との関わりなどを持つ事が出来た。研修後には職員へのフィードバックを行い園全体で共有し保育・教育に生かす事が出来た。
- (3) 園庭開放の参加者が増え制作や園庭遊びなどを楽しんでもらえた。また保護者同士の会話や子育て相談など地域の子育て世帯の憩いの場になった。一時保育事業では一日3人までの受入れで子ども達もゆったり過ごす事が出来た。無呼吸症候群のお子さまや支援が必要なお子さまが増えているが個々の状態をしっかりと把握し無理なく過ごす事が出来た。

2. 施設運営について

令和5年度は職員配置が安定しており、人件費は増加したが担当制保育の環境の下園児も落ち着いて過ごしている。また職員の業務も偏りなく分担して行うことが出来、ほぼ残業なしで業務を行う事が出来た。

1. 令和5年度の重点的活動と成果

- (1) 感染症対策をきっかけにここ数年で見直した行事の新しい形も定着し、各学年、園全体で見通しを持ち、前向きに日々の保育、大きな行事を進めることが出来た。運動会、発表会などは取り組み方法、観覧方法はコロナ前と大きく変わったが、“子どもたちにとって大切なこと”を念頭に置き、進めることで子どもたちだけでなく、保護者の方々からも新たな取り組み方への前向きな感想をいただくことが出来た。
- (2) 活動が室内、室外また園外と幅広くなったこと、異年齢児との関わりが増えたことがあり、置き去り、すり抜け防止の為、タイムタイマーを使用し30分に1回、複数の保育士で人数確認をし、その都度記録も行った。
- (3) 11月、12月とインフルエンザが大流行し、総勢45名が罹患した。また、1年を通して溶連菌感染症も流行し、中には重症化してしまうケースもあった。

2. 施設運営について

園庭開放等で、地域の方々にも園内の様子を感じていただくことができ、その都度丁寧に対応したことで令和6年度の入園希望にもつながったように感じる。

3. その他

人間関係や仕事量が負担となり、年度途中で職員2名が休職してしまった。内1名は退職となってしまったが、1名は復帰し現在は心身ともに元気に務めている。

令和5年度事業報告

田中保育所拠点区分

・大阪市立田中保育所

1. 令和5年度の重点的活動と成果

- (1) 5月にコロナウイルスが5類になり、感染者が出ても日程変更をすることなく、行事に取り組むことが出来た。
- (2) 保護者が参加する行事については、令和4年度の保護者アンケートの中で『自分の子どもが見やすいので入れ替え制』の意見が大半だったので、参加人数の制限を設けながらも入れ替え制で行った。
- (3) 1年を通じて例年になくコロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が見られた。その都度、保護者には発症の職員、クラスの数など、感染者情報を細かく周知した。職員からも『保育所から移されたと言われるのはいや』など、5類以降は職員のマスクは自由にしているが、感染症が出た時は保護者にもマスクをお願いをすることもあり、マスクなしで子どもを向き合うことがなくなってきた。
- (4) 職員の働き方については、職員の人数が多い時間帯に、正規職員が事務仕事ができるように工夫したり、シフトや避難計画など立てるのを持ち回り制にし、正規職員の負担の減らす取り組みも行った。

2. 施設運営について

1. 2. 3歳児合わせて50名定員のところ、令和5年度は44名の受け入れとなり、72名の減少となった。令和5年度の3歳児が18人になり、大阪市と相談しながら幼児を18人クラスに減らしていく予定である。

令和5年度事業報告

西保育園拠点区分

・西保育園

1. 令和5年度の重点的活動と成果

- (1) 保育参観、運動会や発表会などの保護者参加の行事は、人数制限も大幅に緩和し開催した。異年齢児との関わりを取り入れることで、子ども達に思いやりや憧れの気持ちや育まれ、保護者の方にもその成長が感じられる良い機会となった。
また4・5歳児は新たな行事として、音楽会やキャンプファイヤーなどを取り入れることにより、今までにない良い経験となる。

- (2) 体幹を鍛えるための運動遊びを定期的に行うことで、姿勢も良くなり、体をしっかりと支えられるようになってきている。バランスを崩した時でも、咄嗟に動けるので、転倒防止にもつながっている。心身ともに健康な1年を過ごした。

2. 施設運営について

4月のスタート時は、66名であったが徐々に増え、71名まで伸びた月もあった。しかし、引っ越しによる退園も多く、最終的には69名と児童数が伸び悩んだ。令和5年度の状況から、幼児の人数確保が見込めない為、令和6年度の利用定員を70名に変更する。それに伴い、保育士配置や派遣の利用などの人件費の見直しも必要と考える。

アフタースクール KIDS 事業拠点区分

- ・アフタースクール KIDS なみよけ
- ・アフタースクール KIDS かわぐち

病児・病後児保育事業拠点区分

- ・病児・病後児保育事業ぴ～よんルーム

地域子育て支援拠点事業拠点区分

- ・ぴよぴよアイランド

藤白台留守家庭児童育成室拠点区分

- ・藤白台留守家庭児童育成室
- ・山二留守家庭児童育成室

令和5年度の重点的活動と成果

1. アフタースクールKIDS

(なみよけ) 年度途中での支援員の交代や退職、また退職した支援員による近隣での児童福祉施設の開設、夏には漏水被害により施設使用不能となる等、様々な困難に見舞われる年となったが、何とかそれらを乗り越えた。利用児童の減少が大きく影響してしまったので、児童確保が引き続き今後の課題となる。

(かわぐち) 夏休み後に校区外の児童が退所したことにより月より、車両での送迎業務が終了となる。近隣の本田小学校の児童のみ利用となる。今後も本田小学校の児童を中心に受け入れ、安定した利用児童数を確保していきたい。

(共通) 夏には、コロナ後初の合同でプール遠足や一泊キャンプを実施した。参加した児童からは『楽しかった・また行きたい』等の声が聞け、良い経験となった。月に1度はなにかしらの行事に取り組み、今後もホームページに様子を掲載していく。

2. 病児保育室

コロナも5類となり、コロナ前のような過ごし方に少しずつ移行し、感染症等も流行しだしたため、コロナ前の利用率に戻りつつある。今年度は、インフルエンザでの利用者も多く、コロナでの利用出来ないかの問い合わせ等も多かった。コロナは5類に移行したものの感染力も強く、今のところ受け入れは難しい状態だが、近隣施設・連携医とも相談しながら進めていきたい。

3. つどいの広場

子ども青少年局より委託され、6年目。今年度も西区の子育て事業8所と西区役所子育て支援室で行っている（偶数月 年6回）「8所つどい連携会議」に参加し、西区の子育て世帯に関する情報や、それぞれの施設の良さやノウハウを共有し、子育て世帯に安心して利用していただける交流の場として活動出来た。

4. 藤白台育成室

- (1) 2月末に主任指導員が、育成室で起こった事案に対する保護者の方とのやり取りを一方的なクレームと捉えた上で、ご自宅のポストに「不適切な文書」を投函するという迷惑行為を行い、依願退職となった。育成室職員は、動揺しながらも主任不在の中、子ども達や保護者の対応等、日々の業務に取り組んでくれていたおかげで、子ども達も変わった様子もなく過ごしていた。
- (2) 「不適切な文書」については、いじめにつながる内容であったため、主任指導員の件とは別に、吹田市より指導を受ける。職員に対して『いじめに関するアンケート』を取り、個別で聞き取りを行った。少数ではあったが、いじめと感じるケースもあったので、職員間で共有した。また、初動の大切さを話し合い、今後に活かしていく。

5. 山二育成室

- (1) 運営受託をし、1年目が経過。4クラスとも落ち着いており、異年齢同士でも仲良く遊ぶ姿が見られた。毎月のイベントや班活動でも協力し合い取り組む事が出来ていた。特に大きなケガも無く過ぎた。次年度は、人数も増え5クラス運営となる。
- (2) 職員の間人間関係が悪化した時期があった。元からいた職員と、藤白台育成室から異動になった職員とで確執を抱えていた。しかし、話し合いの場を設け、お互いの意見をすべて吐き出したことで、現在は落ち着いている。

2023年度 保育園門 年間行事計画表

2023年

2024年

別紙1-2

Table with columns for 10月 (October) through 31日 (31st) and sub-columns for 望月 (Mitsuki), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi), 渡月 (Watsuki), 安月 (Yasuiki), 田中 (Tanaka), 西 (Nishi). The table contains monthly activities, holidays, and educational goals for children.

令和5年度

波除学園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	123
1歳	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	239
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	32	32	33	33	33	33	33	31	30	30	30	30	389
4歳	33	33	33	33	33	33	32	32	32	32	32	32	384
5歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
合計	150	150	151	151	151	150	149	151	150	150	150	150	1,803

なみびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19
2歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
3歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
4歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
5歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
合計	9	9	9	9	9	10	10	10	10	11	11	11	118

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	123
1歳	21	21	21	21	21	22	21	22	22	22	22	22	258
2歳	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
3歳	34	34	35	35	35	35	35	33	32	32	32	32	404
4歳	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	34	34	413
5歳	34	34	34	34	34	34	34	34	34	35	35	35	411
合計	159	159	160	160	160	160	159	161	160	161	161	161	1,921

令和4年度

波除学園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	12	12	12	117
1歳	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	239
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	395
4歳	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
5歳	30	30	30	31	31	31	31	31	31	30	30	30	366
合計	149	148	149	150	150	150	149	150	150	152	152	152	1,801

なみびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
2歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
3歳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
4歳	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
5歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	14	160

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	12	12	12	117
1歳	21	21	21	21	21	21	20	21	21	21	21	22	252
2歳	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
3歳	35	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	419
4歳	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35	423
5歳	34	34	34	35	35	35	35	35	35	34	34	34	414
合計	163	162	163	163	163	163	162	163	163	165	165	166	1,961

田中保育所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	60
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
3歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合計	89	89	89	89	89	89	91	91	91	91	91	91	1,080

田中保育所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	4	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	66
1歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	16	16	205
3歳	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
4歳	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
5歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	96	98	98	97	97	97	97	97	96	96	95	95	1,159

令和5年度

安治川保育園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳													0
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
5歳	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	29	353
合計	114	114	114	114	114	113	113	113	113	113	113	113	1,361

あじびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	140
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳													0
3歳													0
4歳													0
5歳													0
合計	28	28	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	356

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	140
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	29	353
合計	142	142	144	144	144	143	143	143	143	143	143	143	1,717

西保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	26
1歳	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	118
2歳	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	142
3歳	13	13	12	12	13	13	13	13	13	13	13	12	153
4歳	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	176
5歳	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	17	213
合計	66	66	66	67	70	70	70	71	71	71	71	69	828

令和4年度

安治川保育園
本園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳													0
1歳													0
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	29	30	29	29	29	29	355
4歳	28	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	355
5歳	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
合計	113	114	114	114	115	115	114	115	114	114	114	114	1,370

あじびよ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	10	10	10	9	10	10	11	11	11	11	121
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳													0
3歳													0
4歳													0
5歳													0
合計	27	27	28	28	28	27	28	28	29	29	29	29	337

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	9	9	10	10	10	9	10	10	11	11	11	11	121
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳	30	30	30	30	30	30	29	30	29	29	29	29	355
4歳	28	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	355
5歳	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
合計	140	141	142	142	143	142	142	143	143	143	143	143	1,707

西保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	12	12	11	11	11	11	11	11	11	134
3歳	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	162
4歳	15	15	16	17	17	19	19	19	19	19	19	18	212
5歳	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
合計	70	70	71	73	73	74	73	73	73	73	73	71	867

令和5年度

アフタースクールKIDS
KIDSなみよけ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	4	4	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	24
2年生	9	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
3年生	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	87
4年生	7	7	7	2	2	2	2	2	2	2	2	2	39
5年生	5	5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	33
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	33	32	13	13	13	12	12	12	12	12	12	209
定員	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

KIDSかわぐち

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
2年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
3年生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
4年生	6	6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	4	58
5年生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
6年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
合計	27	26	27	27	27	25	25	25	25	25	24	23	306
定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

藤白台育成室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	60	60	60	60	60	61	61	58	58	58	58	58	712
2年生	57	57	57	58	58	57	57	57	60	60	60	60	698
3年生	48	48	48	48	48	47	46	45	45	45	45	45	558
4年生	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31	379
合計	199	199	199	200	200	199	198	193	196	196	196	196	2,371
定員	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225

病児保育室(び〜よん)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	26	24	33	23	18	33	17	16	34	22	31	20	297

つどいの広場(びよびよアイランド)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	67	96	131	133	149	200	154	160	171	184	191	201	1,837
大人	63	91	125	131	146	201	151	163	175	190	187	188	1,811

山二育成室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	48	48	50	50	50	46	46	48	48	48	48	48	578
2年生	58	58	57	57	57	59	59	59	58	58	58	58	696
3年生	40	40	41	41	41	39	39	37	37	37	37	37	466
4年生	17	17	16	16	16	12	11	11	11	11	11	11	160
合計	165	165	166	166	166	158	157	157	156	156	156	156	1,924
定員													

令和4年度

アフタースクールKIDS
KIDSなみよけ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	117
2年生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	117
3年生	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	105
4年生	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	74
5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	36	36	36	35	35	35	35	35	32	31	31	413
定員	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

KIDSかわぐち

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	7	7	7	7	7	7	7	7	6	11	10	10	93
2年生	12	12	11	11	11	11	11	9	9	10	10	10	127
3年生	11	11	11	11	11	9	8	8	8	8	7	7	102
4年生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	1	1	1	57
5年生	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
6年生	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	18
合計	40	40	39	38	38	36	27	33	32	31	29	29	412
定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

藤白台育成室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	56	56	55	55	55	54	54	54	54	54	53	53	653
2年生	51	50	51	51	51	49	48	46	46	46	45	45	579
3年生	39	41	40	40	40	38	37	37	37	37	36	35	457
4年生	33	34	34	34	34	29	28	26	26	25	23	22	348
合計	179	181	180	180	180	170	167	163	163	162	157	155	2,037
定員	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225

病児保育室(び〜よん)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	0	3	2	2	8	15	13	21	12	26	31	20	153

つどいの広場(びよびよアイランド)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	101	95	123	116	125	104	124	99	108	121	127	131	1,374
大人	85	89	117	111	108	104	123	94	105	117	117	124	1,294